授業科目 公的扶助論II

【担当教員名】 星野 恵美子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：G10】
 日本における公的扶助制度について体系的に把握し、全体像について理解する。
 生活保護制度の理論と実際についての知識を元に、近年における生活保護の動向について理解を深める。
 また、生活保護制度以外の低所得者対策について学ぶことによって多様な課題について理解を深める。
 福祉・保険・医療援助者の知識として必要な生活保護の相談援助活動について位置づけやプロセスを考える。
 自立支援プログラムの意義と実際について理解する。

【学習目標・行動目標：SB0】
 1. 近年における生活保護の動向について理解する。
 2. 生活保護の運営・実施体制について理解する。
 3. 生活保護以外の低所得者対策の概要について学ぶ。
 4. 生活保護・低所得者の相談援助活動の実際について学ぶ。
 5. 自立支援プログラムの意義と実際について学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生活保護の動向について理解する。	1	講義
2	被保護人員数及び被保護世帯数の動向を知る。	1	講義
3	保護の開始、廃止の理由、医療扶助、介護扶助の動向を知る。	1	講義
4	低所得者対策の概要を知る。	3	講義
5	生活福祉資金貸付制度について学ぶ	3	講義
6	ホームレスの自立支援対策、災害救助について学ぶ	3	講義
7	社会手当制度、公営住宅について学ぶ	3	講義
8	生活保護の運営・実施体制について理解する(1)	2	講義
9	生活保護の運営・実施体制について理解する(2)	2	講義
10	生活保護受給者・低所得者への相談活動を知る(1)	4, 5	講義
11	生活保護受給者・低所得者への相談活動を知る(2)	4, 5	講義
12	生活保護受給者・低所得者への相談活動を知る(3)	4, 5	講義
13	自立支援プログラムの意義と実際について学ぶ(1)	4, 5	講義
14	自立支援プログラムの意義と実際について学ぶ(2)	4, 5	講義
15	まとめ	1234	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「公的扶助論」低所得者に対する支援と生活保護制度	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,310円・最新版
参考書	「生活保護手帳」	厚生労働省保護課	中央法規	2,500円・最新版
その他の資料	「国民の福祉の動向・厚生指標」	厚生統計協会	厚生統計協会	2,100円・最新版

【評価方法】 レポート、試験、小テスト、出席状況 授業態度を総合的に評価する	【履修上の留意点】 ※ カリキュラムの編成上選択科目となっているが、社会福祉必ず履修すること。
---	--